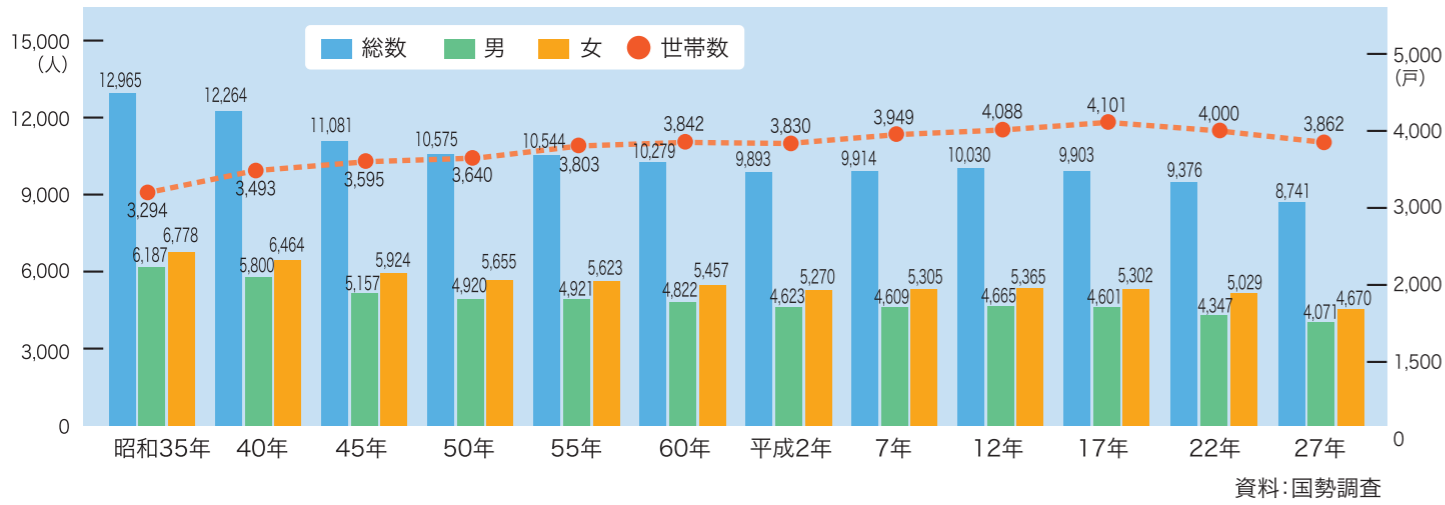


人口

■人口及び世帯数

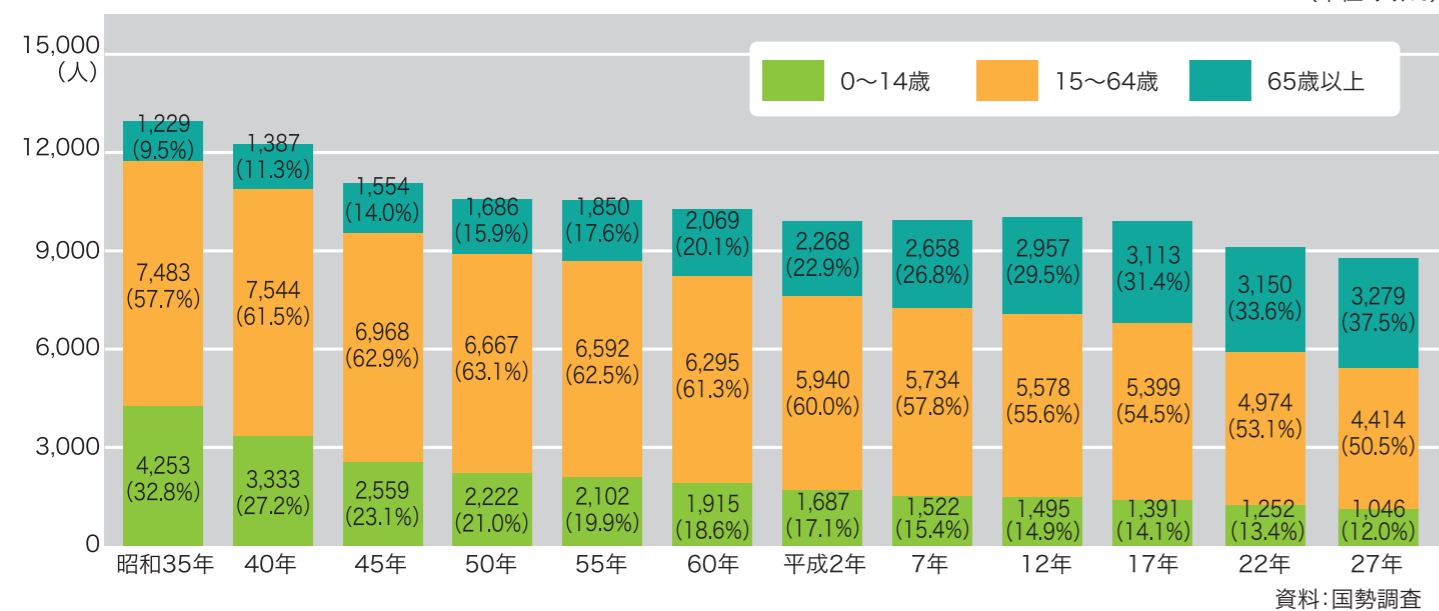


■地区別人口・世帯数

区分	尾呂志		阿田和		市木		神志山		計	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
昭和35年	2,598	713	4,323	1,138	3,241	766	2,803	677	12,965	3,294
昭和40年	2,163	672	4,399	1,273	3,094	805	2,608	743	12,264	3,493
昭和45年	1,772	641	4,045	1,302	2,870	884	2,394	768	11,081	3,595
昭和50年	1,524	586	3,988	1,348	2,770	928	2,293	778	10,575	3,640
昭和55年	1,430	586	3,995	1,445	2,821	954	2,298	818	10,544	3,803
昭和60年	1,270	553	3,950	1,445	2,863	998	2,196	846	10,279	3,842
平成2年	1,114	521	3,705	1,403	2,875	1,036	2,199	870	9,893	3,830
平成7年	1,037	507	3,592	1,402	2,896	1,104	2,389	936	9,914	3,949
平成12年	1,003	494	3,571	1,437	2,909	1,134	2,547	1,023	10,030	4,088
平成17年	908	455	3,497	1,433	2,883	1,157	2,615	1,056	9,903	4,101
平成22年	802	411	3,201	1,374	2,765	1,142	2,608	1,073	9,376	4,000
平成27年	725	379	2,987	1,337	2,601	1,124	2,428	1,022	8,741	3,862

資料: 国勢調査

■年齢3区分別人口構成



自然

■地勢・気候

御浜町は三重県の南端にあり、北・西は熊野市、南は紀宝町に隣接し、紀伊山地を背に雄大な太平洋を臨みます。また、熊野灘に面して20数キロにわたって続く美しい七里御浜の中間部に位置し吉野熊野国立公園域でもあります。

気候は典型的な海洋性気候で、年間平均気温は17.6℃、年間降水量2,300ミリの温暖多雨な地域で降雪はほとんどありません。この温暖な気候を活かし、一年中みかん(柑橘類)が栽培されています。反面、台風の多い地域でもあり、短期間の強雨が多いことが特色です。

■町の歴史

御浜町は、日本書紀にも記された紀伊国熊野の有馬村に隣接しており、熊野市とともに我が国の古代文化の発祥の地として知られています。

町内の志原や市木の河口、尾呂志の山中などには古代遺跡があり、珍しい石器や土器が発見されています。

古くは熊野権現の神領地でしたが、平安、鎌倉の荘園時代には荘司によって統治されました。戦国時代には一時戦乱の余波に巻き込まれたものの、神木村、片川村は紀州藩の直轄となり、他の地域はその後250年にわたって紀州藩家老水野氏の統治をうけ、明治維新を迎えました。廃藩置県によって紀州藩から分立した新宮県に属していましたが、その後新宮県が

廃され、熊野川・北山川を境界として、以西を和歌山県、以東を度会県に編入。明治9年4月に度会県が廃止されて三重県に編入されました。

明治20年4月に市制及び町村制制度が施行され、神志山村、市木村、阿田和村、尾呂志村の4村が誕生し、後に市木と尾呂志の2村が合併し市木尾呂志村となりました。その後阿田和村は阿田和町となり、神志山村のうち金山、久生屋地区は熊野市へ合併する等の経緯がありましたが昭和33年9月1日、阿田和町と市木尾呂志村、神志山村が合併して御浜町が誕生しました。

自然

■位置・面積

位置		全体面積	広ぼう	
東経	北緯		東西	南北
136°	33°	88.13km <sup>2</sup>	12.0km	13.5km

■地目別面積

区分	田	畑	山林	宅地	原野	雑種地	その他	計
面積	4.64	10.55	45.12	2.09	1.53	2.19	22.01	88.13
比率	5.3	12.0	51.2	2.4	1.7	2.5	24.9	100.0

(単位: km<sup>2</sup>, %)

■月別降水量と気温

